

## KKR 高松病院 救急外来トリアージの実施基準

### 【対象】

救急外来受診患者

### 【トリアージ目標開始時間】

可能な限り速やかに実施し、原則として受付後 20 分以内を目標とする。

### 【トリアージを行う場所】

救急外来 診察室もしくは待合

基本的に診察室でトリアージおよび問診を実施する。

複数人が待機しており、やむ得ない場合は必要に応じて待合でトリアージを実施する。

### 【トリアージ記録】

- ・ トリアージ結果を問診票に記載
- ・ 看護師は電子カルテの問診兼看護記録にトリアージの結果を記録する
- ・ 医師は、トリアージ記録を診療録に記載する

### 【トリアージの分類】

当院で従来基準としていたものを使用し、評価する。

#### レベル 1:蘇生レベル

生命または四肢を失う恐れがある状態(または差し迫った悪化の危険がある状態)であり、積極的な治療が直ちに必要な状態。

#### レベル 2:緊急

潜在的に生命や四肢の機能を失う恐れがあるため、迅速な治療が必要

#### レベル 3:準緊急

重篤化し救急処置が必要になる潜在的な可能性がある状態。強い不快な症状を伴う場合があり、仕事を行う上で支障がある。または日常生活にも支障がある状態。

#### レベル 4:低緊急

患者の年齢に関連した症状、苦痛と感じる症状、潜在的に悪化を生じる可能性のある症状で、1~2 時間以内の治療開始や再評価が望ましい状態。

#### レベル 5:非緊急

急性期の症状だが緊急性のないもの、および増悪の有無にかかわらず慢性期症状の一部である場合。

### 【トリアージ再評価時間】

最初にトリアージした時間から、各レベルに応じた再トリアージ時間

- ・レベル:2（緊急）：15分以内に再トリアージ
- ・レベル:3（準緊急）：30分以内に再トリアージ
- ・レベル:4（低緊急）：60分以内に再トリアージ
- ・レベル:5（非緊急）：120分以内に再トリアージ

### 【トリアージ一連の流れ】

- ・問診を兼ね、診察室または待合でトリアージを開始し問診票に記入する。
  - ・トリアージを実施したトリアージナースが所定の用紙を診察室のデスクに配置する。
- なお、複数名患者が待機している場合は緊急性および優先順位が高い患者を優先し用紙を上側に配置する。また、緊急度が高い場合は、トリアージナースが医師に報告する。

### 附 則

この基準は、平成24年4月1日から施行する。

この基準は、令和8年4月1日に改訂し、同日から施行する。